

FJ

リーダーズクラブ | 第1回

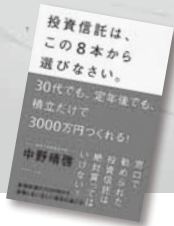
FJ読者を取材やイベントにご招待。
記事にならない発言も含め、すべて見て、
聴いていただきます。

構成●FJ編集部 写真●鰐部春雄



中野晴啓・セゾン投信社長 「投信って何ですか？」

『投資信託は、この8本から選びなさい。30代でも、定年後でも、積立だけで3000万円つくれる!』(ダイヤモンド社)を上梓した中野社長へのインタビュー。今回は8月上旬、セゾン投信本社で行われた取材に、学生、社会人の読者5人が同席、直接質問しました。



**条件設定して絞り込んだら
この8本になりました**

——昨年末に『積立王子の毎月5000円からはじめる投資入門』を出されて約半年、今回の新刊の狙いは？

公募投信が4000本以上ある現状では、よほど詳しい方でないとどの投信を買ったらいいかわからないと思うんです。そういう声が実際多かったのですが、絞り込んで提案しようと考えました。その絞り込みのプロセスで僕の投資に対する考え方、理念や業界への思いも伝えられる内容にしました。タイトルが生意気なようですが、あくまで編集者からご提案いただいたものですから(笑)。イボットソン・アソシエイツ・ジャンの協力で長期投資に適した6つの条件(国際分散投資、信託期限が無期限、分配金再投資、低コスト、資産が増え続けている、積立可能)をもとにスクリーニングしたところ、たった8本しか残りませんでした。

——サブタイトルに「30代でも、定年後でも:3000万円」とあります。現役世代だけでなく定年後を入れた理由は？

セミナーなどで、「俺には時間がない」って言われる方もおられますが、そんなことないですよ。60歳の平均余命は男性でも八十数歳、女性はそれ以上です。60歳から数えても二十数年から三十年以上ある。そ

れだけあれば長期投資は可能だし、やるべきなんです。

よく「長期投資の終了時期が暴落相場だったらどうするんだ」という方もおられますが、終わりの時期を決めるからそうなるんです。長期投資とは「何年間と決めてやる」ものではなくて、やめない投資のことなんです。続けるほど果実がつくのですから、生きてる間中、ずっと続けてほしいんです。

——円高が激しくなっています。

日本が悪い状況なのに円高が続く不思議。しかしもう円高慣れしちゃっていますよね。この円高で日本は意に反したお金持ち状況にあります。個人が海外旅行で安く買い物できるように、企業単位でも同じことがいえます。海外のいい企業を安く買うことができるわけです。積極的に海外企業のM&Aを進めている企業が目立つように、真つ当な経営者なら行動を始めているはずですよ。

——多くの人が投資せず、銀行預金で済ませてしまっています。

そのお金がどうなっているか想像したことはあるでしょうか？ 銀行は預かったお金で国債を買っています。国は民から集めたこのお金で、橋や道路を造っている。預金者はそんなことにお金を使ってほしいとは思っていないですよ。こういう状況をおかしいと思わなきゃいけない。資本主義国家のお金の流れじゃありません。



読者の声

「著書を読んだだけでは難しく感じていましたが、投資にはロマンがあるとうかがい、投資を始めてみたいと思いました。ショックなお話もありましたが、気があってよかったです」



山内恵理さん (25) 会社員

「以前金融の仕事をしていましたが、著書を読んで、知らないことがまだまだあるなぁと改めて感じました。お話をうかがい、自分のことは自分で守らなければいけないという思いが強くなりました」



町田俊行さん (27) 会社員

「FXをやっています。為替は国へ、株式投資は企業への投資というイメージがあったのですが、投信にはなかった。中野社長の「投信は船である」という言葉にイメージがわかりました」



笥 隆太さん (25) 会社員

「環境経済を学んでいるのでエコファンドに関心があり質問しました。気持ちだけでお金を投じるのは投資ではなく寄付で、投資とはお金を生み出せるかどうかであるとうかがい、参考になりました」



結城菜々子さん (20) 慶應大3年

「もし友人に投信がどういふのかを聞かれたら、ポイントをおさえて短くどう答えればいいのか分かりました。投信は目標を共にし、船に乗って、成果を分かち合うこと……とても勉強になりました」



原田健太郎さん (21) 慶應大3年



ひと昔前の銀行は、預金で集めたお金を企業に融資して産業を育てていた。間接金融にリスクマネーがあった。成熟しきった現代の日本において、銀行はすでに役割を終えています。彼らはリスクをとって投資なんてできない。
投信は皆で乗る船。同じ場所を目指して乗り込み、成果を分かち合う。民主主義そのものなんです。夢とロマンもある。投信を広めることは、お金による民主主義の獲得とすら思っています。
—— 行政や政治に対する不信感は募っていると思います。
若い人と話をすると、「政治は誰がやっても同じ、選びたい人がいない」という人がいますが、とんでもない。そもそも政治家が皆ちゃんとしてると決め付けていますが、歴史をひも解けば分かります。政治家が

皆いい人ばかりだったでしょうか？
望ましい候補がたといえなくても、選択肢の中で一番いいと思える候補を選ぶ。そしてちよつともより良い社会をつくるんです。
3・11を経て、次の(国政)選挙では投票率が上がると思っています。震災とその後原発の騒動があって、政治や霞が関に対する不満や「おかしい」という気持ちは高まっています。今まさに変化の前触れ。日本の構造を変えるのは、政治家でも霞が関でもない。私たち生活者だと思いますね。

次回予告

8月30日～9月2日ごろ実施予定。
詳細はFJのサイトおよびFacebookページをご確認ください

<http://www.financialjapan.co.jp/>

<http://www.facebook.com/FinancialJAPAN>